

外国文学



笑う化石の謎

ピッパ・グッドハート／著
千葉茂樹／訳
あすなろ書房（2017年）

13歳のビルの家は貧しい上に、園芸家の父親は失業する。ビルは採掘場で働き始め、そこで見つけた化石が売れると知り、従弟のアルフと化石探しをはじめめる。実在の人物や出来事が盛り込まれたフィクション。

難民になったねこクンクーシュ

マイン・ヴェンチャーラ／文
ベディ・グオ／絵
ヤズミン・サイキア／監修 中井はるの／訳
かもがわ出版（2018年）

戦火を逃れ安全に暮らせる場所を求める道中で、大事な飼い猫が行方不明に。人間の命さえ危うい中で、猫は飼い主と再会できるのか？人々の優しい気持ちがつなぐ5000kmの長い旅！



外国文学



ぼくがスカートをはく日

エイミ・ポロンスキー／著
西田佳子／訳 松中権／解説
まめふく／絵
学研（2018年）

グレイソンは女の子になりたいという秘密を抱えた男の子。気持ちとは裏腹に男として成長していく体に苦しみながら日々を過ごしてきました。自分らしく生きられない辛さから解放される日は来るのでしょうか。

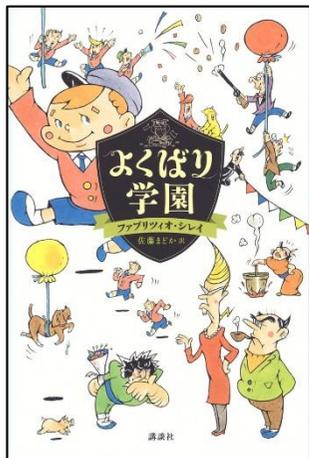
かならずお返事書くからね

ケイトリン・アリフィレンカ
マーティン・ギャンダ／著
リズ・ウェルチ／編 大浦千鶴子／訳
PHP研究所（2018年）

ごく普通の少女ケイトリンは文通をすることに。相手はジンバブエという国の少年。どんなに厳しい現実が待っているとも“かならずお返事書くからね”この思いを持ち続けたからこそ奇跡のような未来が待っていた。



外国文学



よくばり学園

ファブリツィオ・シレイ／著
佐藤まどか／訳 中垣ゆたか／画
講談社（2018年）

こころやさしく、人を喜ばせるのが大好きなプリモ。ずるがしこい人間になるために、両親に“よくばり学園”へと入学させられます。プリモの天真爛漫さは、周囲の生徒や大人たちにも影響をあたえますが…。

次元を超えた探しもの アルビーのバナナ量子論

クリストファー・エッジ／作
横山和江／訳
くもん出版（2017年）

ダンボール箱とバナナを使った装置で、パラレルワールドへ旅立ったアルビー。彼の目的は、母親が活着ている世界を見つけること。性格や性別の違う自分と出会いながら、いくつもの世界を渡る彼は、母親と再会できるのか？

